



# いなほ



令和3年12月7日  
令和3年度学校だよりNO.36①  
加古川市立平荘小学校

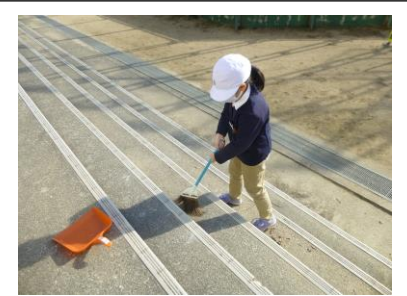
## 学校を美しくしています

12月6日(月)の児童朝会の時に、12月の生活目標の話子どもたちにしました。「だれが、学校を美しくするのか。」「学校を美しくするにはどうすることなのか。」を、みんなで考えました。そして、12月の生活目標を達成するために、まず掃除を頑張ることを全校生で確認しました。

そのためには、まず**13時20分には自分の担当する掃除場所に行っておくこと。そして、15分間しっかりと掃除をすることを、全校生で再確認しました。**

いよいよ12月6日(月)の掃除の時間がやってきました。平荘っ子は、どうしているかな?と楽しみにしながら玄関に行くと、さすが6年生です。全校生の見本になるように、掃除開始時刻には自分の掃除場所で清掃活動を開始していました。玄関の外に出てみると、低学年の児童も中学年の児童も、みんなが掃除開始の時刻を意識して、一生懸命に掃除をしていました。

みんなで学校を美しくしています。大変うれしいことです。



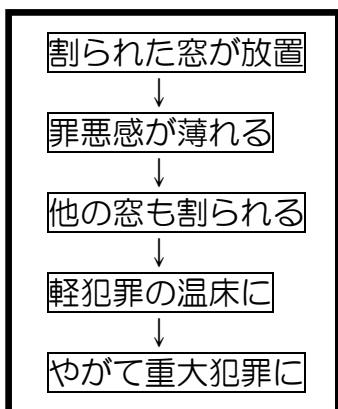
掃除の後各教室を回っていると、「校長先生の話で掃除を意識することができました。ありがとうございました。」と声をかけてきた子がいました。**学校中が「頑張って掃除をしよう」という気持ちになっているのが伝わってきます。みんなで一つのことに向かって頑張ることはとても気持ちのよいことです。**



## 割れ窓理論

「割れ窓理論」とは、一枚の割られた窓ガラスをそのままにしていると、さらに割られる窓ガラスが増え、いずれ街全体が荒廃してしまうというアメリカの犯罪学者ジョージ・ケリング博士が提唱した理論です。

かつて犯罪多発都市ニューヨーク市で、この「割れ窓理論」を実践したそうです。割れ窓の修理や落書きなど軽微な犯罪の取り締まりを強化した結果、犯罪が大幅に減少したとされています。



また、アメリカの別の都市（サンフランシスコ）では、道路のゴミを徹底的に拾ってきれいにしたところ、犯罪が大幅に減少したと聞いたことがあります。

環境は、人の気持ちもよくも悪くもするものだなあと実感しました。

今、学校では、12月の生活目標を全校生で守ろうと頑張っています。頑張っている人が気持ちよく過ごせる学校作りを、これからも子どもたちや教職員で力を合わせて進めていきます。

ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

## 『はるかのひまわり』が今も育っています

6月に『はるかのひまわり』の種を植えた第1回から今までで、『はるかのひまわり』の種を3回に分けて植えました。そして、第4弾（『学校だより』NO.32④で紹介）のはるかのひまわりが寒さにも負けず、どんどん成長しています。



第3弾の『はるかのひまわり』も、まだ元気に花を咲かせています。

平荘っ子のみなさんへ  
先日も地震が起こり運動場に避難をしました。自分の身は自分で守れるよう、大切な知識は身につけておきましょう。

左の絵本は、『あの目をわすれない はるかのひまわり』（指田和子・作、鈴木びんこ・絵）です。一度読んでみてください。大切な命についてかかれています。